

定価 本体500円 + 税

ライフスキルで育てる



ひとりで生きる力! みんなと生きる力!

第1巻



著 きたやまとしかず
とがわすみこ
なかむらちえこ

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



特定非営利活動法人

青少年育成支援フォーラム

JIYD Japan Initiative for Youth Development

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-63-302

TEL 03-3440-3373(代表) FAX 03-3440-4447 E-mail info@jiyd.org

プログラムURL <https://lionsquest-japan.org>

団体URL <https://www.jiyd.org>

 JIYD

はじめに

人生にとって大事な能力のうち、学校の成績のような数値で表すことができる能力を「ハードスキル」、数値で表すことができない能力を「ソフトスキル／ライフスキル」と言います。学校にいる間は「ハードスキル」が目目されますが、社会に出ると、「ソフトスキル」の方がはるかに求められる割合が高くなります。自分らしさを大切に、多くの人と関わり、自分の力を発揮するためには、“学校の成績”だけでは、どうにもならないからです。だから、ソフトスキル／ライフスキルは、特別な人、限られた人だけではなく、老若男女を問わず、だれでも気軽に、楽しく学べるのが理想です。

さて、子どもの貧困対策として、全国で「第三の居場所」の開設を計画している日本財団から、子どもたちが本当の意味で自立できるよう、居場所で非認知能力(ソフトスキル／ライフスキル)を教えたいのだが…という問い合わせがありました。そして、居場所の指導者の支援と、子どもたちへの非認知能力の指導に全面的に協力することになりました。この資料集はその一環として作成したものです。

タイトルは『ライフスキルで育てる ひとりで生きる力! みんなと生きる力!』としました。1つのテーマは見開き2ページで、たくさんのイラストを入れ、文字をできるだけ少なくしています。手軽に使えるよう、A4よりひと回り小さいB5サイズで、1巻に10のテーマを収録し、とりあえず3巻まで作る予定です。

まずは、イラストを目で追いながら、さらっ

と読んでみてください。そして、“自分が学ぶ”つもりで、流れに沿って学習の場면을想像してください。指導者も入れて2~3人の少人数から、ちょっとした準備物だけでできるものばかりです。

その後で、子どもたちのようすを思い浮かべてください。「この子には、もっと自分の気持ちを話せる力をつけてあげたい」、「あの子には、友だちに優しい言葉づかいができるようになってほしい」、「子どもたちに、ルールを守った上で、自由に活動してほしい」…。きっとこのような気持ちが湧いてくると思います。

各テーマのページには、「笑顔があふれるゲーム」のタイトルで、2~3人から遊べる楽しいゲームも紹介しています。ひょっとしたら、ゲームだけやっても意外な効果があるかもしれません。子どもたちの課題の中には、ひとつひとつ全部取り組まなくても、笑顔があふれる関係になれば、自然に解決するものもあるからです。もちろん、大人を対象にすることも可能です。基本的にこの指導書は、元になっているライオンズクエストプログラムのワークショップに参加しなくても使うことができますが、興味がわいたら、参加するのも楽しいと思います。

「経済格差と学力格差には相関がある。その克服にはソフトスキル／ライフスキルを学ぶことが効果的だ」という研究報告があります。当たり前のことですが、次の時代を支えるのは今の子どもたち、若者です。この冊子が、さまざまな場所で、ソフトスキル／ライフスキルの学習の一助になれば幸いです。

編集・著者代表 北山敏和

本書の使い方 3

低学年向

- ① みんながうれしくなるルール 4
- ② 聞き方の信号機 6
- ③ おこっている人がいたら、どうする!?! 8
- ④ ほめるっていいな 10
- ⑤ ていねいなおねがい 12
- ⑥ イエスそれともノー 自分の気持ちを伝えよう! 14
- ⑦ 「けっぺい」ってなあに? 16

中学年向

- ⑧ ① かんがえて ② よそうして ③ えらぶ 18
- ⑨ 前向きな考え方パワー! 20

高学年向

- ⑩ 目標の立て方を学んで〈ついでにおいしいカレーを食べちゃおう〉 22

資料

- ① 知恵を引き出す用紙類 24
- ② おこっている人にできること 25
- ③ ロールプレイの台本と場面集 26
- ④ こんなときは必ず「ノー」 27
- ⑤ マイケルが選んだものカード 28
- ⑥ 前向きな考え方パワー 29
- ⑦ 目標を立てる4つのステップ 30

本書の使い方

1 1つのテーマが2ページにまとめられています。好きなところを、さっと読んでください。おもしろいなと思ったら...



6 終わったら、ふり返ります。

子どもたちに感想を聞いてみましょう。うまくいったらスタッフ同士で拍手! うまくいなくても、やっぱり拍手! 最初からうまくいく人はいませんから...



2 自分や家族に当てはめながら、頭の中でシミュレーションしましょう。そして、関わっている子どもたちに試してみたいと思ったら...



5



3 子どもたちの課題を思い浮かべ、整理しましょう。言葉が乱暴、けんかが多い、後片付けができない...



4 スタッフや仲間と相談し、テーマを選びます。子どもたちの実態に合わせて、アレンジしてもかまいません。必要な資料は本書のうしろに付いています。



スキル みんなで考え、みんなで守るルールを作る

1 みんながうれしくなるルール

準備物

- ✓ 画用紙・マーカー
- ✓ 短冊形用紙 (A4を4枚に切った程度の大きさ) 1人当たり6枚



健康や安全に関わるルールは、大人が責任を持って決めなければいけません。でも、子どもたちが、互いを尊重し、安心して、気持ちよく、楽しく過ごす“なかま”になるためには、みんなで考えて、みんなが守るルールが効果的です。

わるぐちなかまはずれしごとをしないさわぐ...




活動1 うれしくないことを考える

まず、クラスや居場所の仲間との間で、「こんなことがあればいやだな～」、「こんなことが起こればいやだな～」と思うことを考えます。

- 短冊形用紙1枚に1つ、1人3枚書きます。
- 字が書けなければ、言葉で言い、指導者が代わりに書きます。
- 書けたら、すべての用紙をならべ、同じものやよく似たものがあれば、近くにまとめ、みんなで見て、短時間話し合います。

指導のヒント 子どもたちが、いやなこと、うれしくないことを、言葉にして表現し、それをみんなで共通理解することが重要です。ルールは「たのしいな、うれしいな」と思えることを、日々の生活の中で1つでも増やすことを目指します。



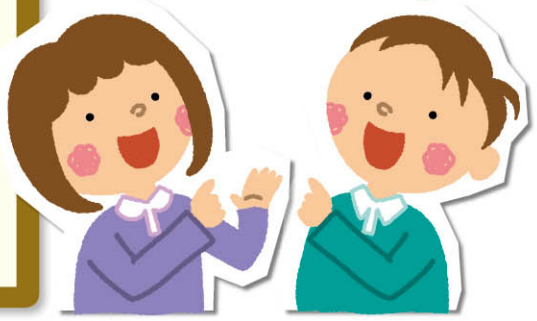
活動2 うれしいことを考える

今度は反対に、クラスや居場所の仲間との間で、「こんなことがあればうれしいな～」、「こんなことが起こればうれしいな～」と思うことを考えます。

- 活動1と同じように、うれしいことを考え1人3枚書いて、ならべて、分類して話し合います。

みんなえがおいっしょにあそぶみんながあいさつする

よくわらうだいじょうぶときいてくれる



活動3 ルールを選んで、決める

いやなことを選んで、「〇〇をしない」というルールではなく、うれしいことの中から、みんながすることを話し合って1つ選び、必要なら言葉を修正しルールにします。だから、ルールは必ず「〇〇する」になります。

活動4 ルールを書いてサインする

決まったルールを、大きな文字で画用紙に書き、その下にみんながサインします。指導者もサインし、それを壁に貼ります。1ヶ月たったら、守れているかふりかえり、守れていれば、新しいルールに変えます。

笑顔があふれるゲーム えあ・なわとび

みんなで言うなわとびです。縄がなくても、どんなところでもできますよ! 回す人と、跳ぶ人を交代しながら、縄があるつもりで跳んでみましょう。縄が“見えたら”大拍手!!

本書は、公益財団法人日本財団の助成を得て開発されました。また、同財団による子どもの貧困対策における「第三の居場所」へ、子どもたちの非認知能力を高める介入プログラムの導入を進める中で開発されたものです。日本財団による子どもの貧困対策の取り組みについては、同財団のホームページをご覧ください。



https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/ending_child_poverty

本書は、「Lions Quest プログラム」(日本語版)を参考に開発しました。Lions Quest プログラムの著作権は、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)がその著作権を所有し、日本では特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)がLCIFよりプログラムの普及事務局に指定され、全国のライオンズクラブと協同して普及活動に取り組んでいます。同プログラムについては、ホームページをご覧ください。



<https://lionsquest-japan.org>

ライフスキルで育てる ひとりで生きる力!みんなと生きる力! 第1巻

発行日 2020年6月1日

著者 北山敏和/外川澄子/中村千恵子

企画・編集・デザイン原案 北山敏和

装丁・デザイン 古谷悠子

発行者 馬淵英晃

発行 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-63-302

TEL 03-3440-3373 (代表) FAX 03-3440-4447

E-mail info@jiyd.org

プログラム URL <https://lionsquest-japan.org>

団体 URL <https://www.jiyd.org>

